

平成30年度

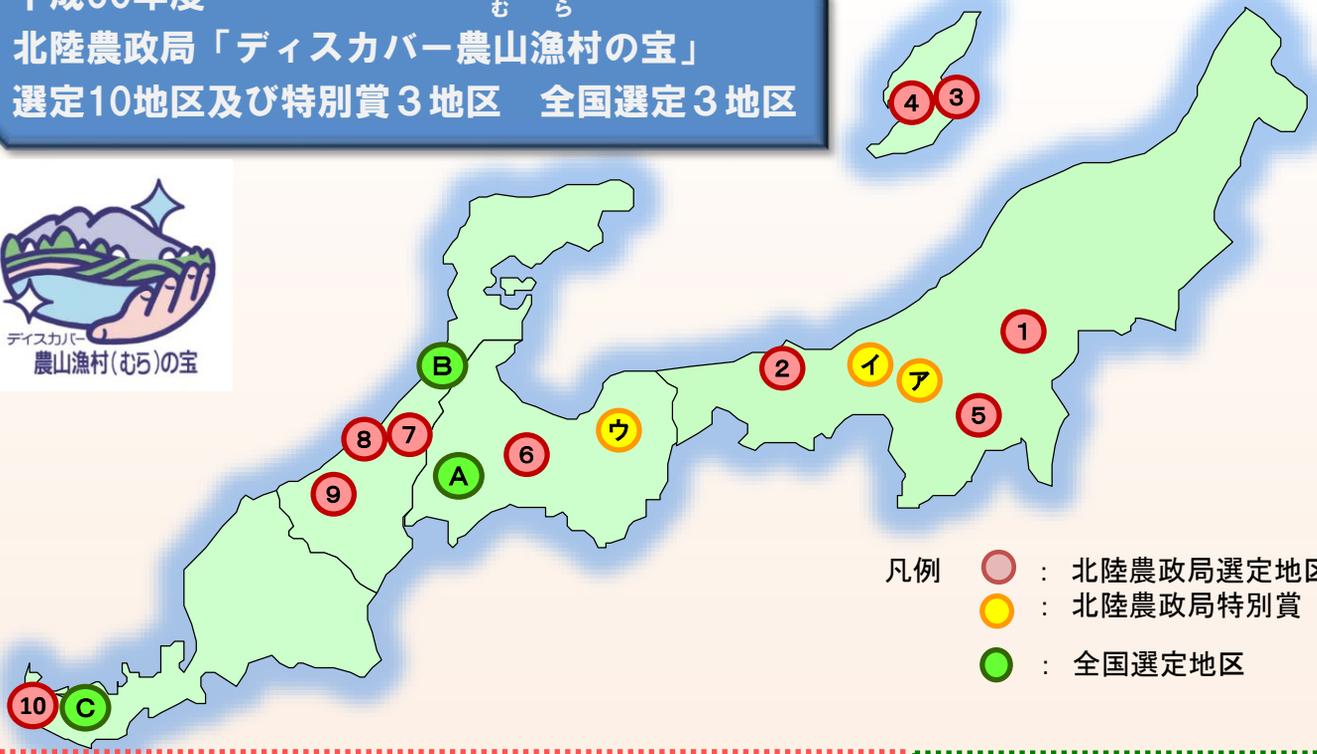
むら

北陸農政局「ディスカバー農山漁村の宝」

選定10地区及び特別賞3地区 全国選定3地区



ディスカバー
農山漁村(むら)の宝



北陸農政局選定地区

① 新潟県 小千谷市

P1

株式会社
Mt. ファームわかとち

⑥ 富山県 富山市

P6

社会福祉法人
フォーレスト八尾会

② 新潟県 糸魚川市

P2

上越漁業協同組合

⑦ 石川県 金沢市

P7

特定非営利活動法人
くくのち

③ 新潟県 佐渡市

P3

NPO法人 立野福祉会

⑧ 石川県 金沢市

P8

特定非営利活動法人
施無畏

④ 新潟県 佐渡市

P4

朱鷺と暮らす郷づくり
推進協議会

⑨ 石川県 小松市

P9

公益社団法人
小松市シルバー人材センター

⑤ 新潟県 湯沢町

P5

越後湯沢交流事業推進協議会

⑩ 福井県 小浜市

P10

たがらす我袖倶楽部

全国選定地区

① 富山県 南砺市

P13

南砺市商工会利賀村支部

ジビエグルメ賞

② 石川県 羽咋市

P14

合同会社 のとしし団

③ 福井県 小浜市

P15

小浜市阿納体験民宿組合

北陸農政局特別賞

④ 新潟県 上越市・十日町市

P11

越後田舎体験推進協議会

⑤ 新潟県 上越市

P12

金谷北地区農村元気会

⑥ 富山県 魚津市

P12

小菅沼・ヤギの杜

① 株式会社 Mt.ファームわかとち

まうんと

～過疎の山村から元気な幸せづくり～



農泊

地元食材の
提供・活用

女性・高齢者
の活躍

所在地 : 新潟県小千谷市真人町戊378-1
連絡先 : 0258-82-1410
URL : <https://wakatochi.thebase.in/>



古民家民宿「おっこの木」



東京の中学校の田植え体験



加工特産品の開発・販売

地域の課題・活動のきっかけ

○平成16年に発生した中越地震後、有志により設立した「わかとち未来会議」を、更なる地域活性化を図るため、平成28年に株式会社を設立。

活動の内容

- 農家民宿「おっこの木」では、地元食材を使用した田舎料理を提供、農家民泊は小・中学校の教育体験旅行を受入れ。
- 地域の加工組織と連携し、米、漬物等の農産加工品を販売し、また地域おこし協力隊や大学生のインターン生を積極的に受入れ。

活動の効果

○若者との交流により地域が開けた雰囲気となり、農家民宿による雇用の増加、6次産業化による収入の増加が図られた。



今後の展開

○若い人材受入れの継続、加工・農家民宿・農村体験等を組み合わせ、地域に仕事が生まれる仕組みができるよう事業展開していく。

② 上越漁業協同組合

～若手の力で漁獲から加工までの一貫体制構築～

国内観光客
の誘致

6次産業化

学生・若者の
活躍



所在地：新潟県糸魚川市大字能生7567-1

連絡先：025-566-5155

URL：<https://www.facebook.com/joetsu.gyokyou>



漁協加工品の直売所



観光協会等と連携したセリ市場の見学受入れ



加工企画委員会で開発、商品化

地域の課題・活動のきっかけ

○鮮魚での市場流通依存度が高く、大量水揚げ時の魚価低迷の課題を受け、平成27年に若手メンバーを中心とした加工企画委員会を再始動。

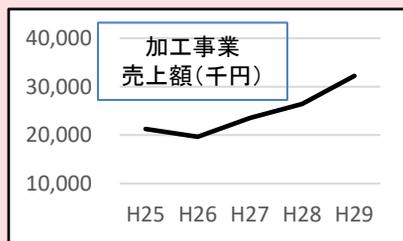
活動の内容

○生産から加工・販売の各部門を一体的・計画的に運営し、未利用漁等による新たな加工品の開発・販路拡大・3Dフリーザー等を整備。

○セリの見学台を設置し、観光協会と連携したツアー等の受入れや、道の駅に漁協加工商品の直売所を開設。

活動の効果

○高品質の加工品は評価が高く販路が広がるとともに、観光客が増加し地域全体に経済効果が発現している。



今後の展開

○沖(猟師)の仕事だけでなく、陸(荷捌、加工)での雇用を増加させ、地域の空き家も活用し、漁村活性化のモデルケースにしたい。

③ NPO法人 たての 立野福社会

～お互い様の精神でそれぞれが活性化～

地元食材の
提供・活用

6次産業化

医療・福祉と
の連携



所在地：新潟県佐渡市立野464

連絡先：0259-67-7774

URL：<https://tateno-hukusikai.amebaownd.com/>



スイセンの植え付け作業



米粉を使用した菓子：ビスコッティ



古民家改修によりアートサロン和の運営

地域の課題・活動のきっかけ

○障がい者の就労先の確保と地域の農地の維持等の観点から、平成25年に法人を設立し活動を開始。

活動の内容

○採種カンラン(キャベツ)、スイセン球根、水稻、たまねぎ等を生産し市場出荷と直売所で販売。また、米粉を利用した菓子も製造し販売。

○集落で取り組む水路の泥上げ等の作業に積極的に参加するなど、地域と一体となり農業を通じて障がい者の自立を支援。

活動の効果

○お互いに顔が見える関係を築くことで、地域のコミュニティの醸成につながった。



今後の展開

○加工場を併設した販売施設(アートサロン)を整備し、更なる6次産業化を目指す。

④ 朱鷺と暮らす郷づくり推進協議会

～トキと共生する佐渡の里山のために～

農林漁業
・農山漁村文化体験

自然・景観
・伝統・継承



所在地：新潟県佐渡市千種232番地
連絡先：0259-63-5117（佐渡市農業政策課内）
URL：http://www.toki-mai.jp/（朱鷺と暮らす郷公式HP）



着実に進むトキの野生定着



年2回実施している生きもの調査



田んぼに愛着を！田んぼアート実施

地域の課題・活動のきっかけ

○平成19年に発足した「朱鷺と暮らす郷づくり認証制度」を推進し、再びトキと共生する自然環境を、田んぼを中心に作るとともに、佐渡米のブランド化を図るため、生産者、民間、行政等が中心となり協議会を設立し活動を推進。

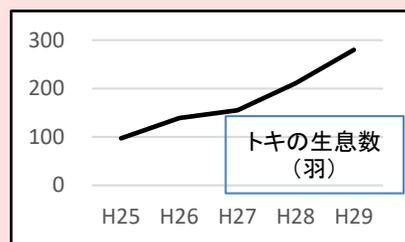


活動の内容

- 農家自らが「生きものを育む農法」を推進し、安心・安全な米づくりに取り組む。
- 首都圏での情報発信活動や消費者との交流により、販路を拡大。
- 田んぼ自体の愛着醸成と賑わうほ場に向け、田んぼアートを実施。

活動の効果

○佐渡米のブランド化や、生物多様性豊かな田んぼが拡大し、トキの野生復帰が進んだ。



今後の展開

○生きものを育む農法の効果的な発信と、五ツ星お米マイスターと連携した食育活動を推進し、お米の価値を高めていきたい。



⑤ 越後湯沢交流事業推進協議会

～「農」と共存するライフスタイルを探そう!～

農泊

農林漁業・農山
漁村文化体験

6次産業化



所在地：新潟県南魚沼郡湯沢町土樽5113番地

連絡先：050-3656-3683

URL：http://earthlore.jp/



常設の収穫体験エリアの運営



スノーシュー他
冬の体験プログラム・ツアーの実施



産直市の開催

地域の課題・活動のきっかけ

○平成22年に農と観光の連携による地域振興を目指し設立した協議会の活動に加え、6次産業化による所得向上を新たなテーマとして掲げ、平成26年に協議会を設立。

活動の内容

- 常設の収穫体験エリアの設置や自然や食を活かした体験プログラムによる交流事業を実施。
- 企業による買取りを前提とした農産物の栽培を実施、「うおぬま源流米」としてブランド化し販売、産直市を開催。
- 地域外より若者を受入れ、農業指導や地域コーディネーター研修を実施。

活動の効果

○ツアーコンテンツが増えて、交流人口や農産物の売上げが増加し、さらに地域の企業との連携から地域外企業との連携に発展している。



今後の展開

○企業とのマッチアップや、IoTを活用した新しい農業経営のビジネスモデル構築など、新しい視点での取組にトライしていく。

⑥ 社会福祉法人 フォーレスト八尾会

～桑畑を再生！6次化でめざせ地域ブランド！～

自然・景観・
伝統・継承

6次産業化

医療・福祉と
の連携



所在地：富山県富山市八尾町黒田53-3

連絡先：076-454-2117

URL：<http://www.cty8.com/forest/houjin.html>



地域の課題・活動のきっかけ

○養蚕で栄えていた八尾町の賑わいを取り戻したいと、市民団体と連携し遊休農地を桑畑に再生するとともに、「桑」を使った名産品の開発や、自家野菜を使った惣菜加工を開始。

活動の内容

- 中心市街地の空き店舗を活用して工房「風のたより」を開設し、桑の葉茶・桑の菓子・桑の実ジャムへ加工し販売。
- 農産物や加工した惣菜等を近隣病院等で販売。

活動の効果

○地域に馴染んだ社会資源として住民からも認められ、障がいがあっても皆が役割をもって働く姿は「地域の活力」となっている。



今後の展開

○桑の葉を使用した商品を八尾特産として、県内外に情報を発信し売上を伸ばし、地域に根づく施設としてより発展していきたい。

⑦ 特定非営利活動法人 くくのち

～限界なんてない！マチオモイな人がいる限り～

農林漁業・農山
漁村文化体験

6次産業化

企業・地域住民・
大学との連携

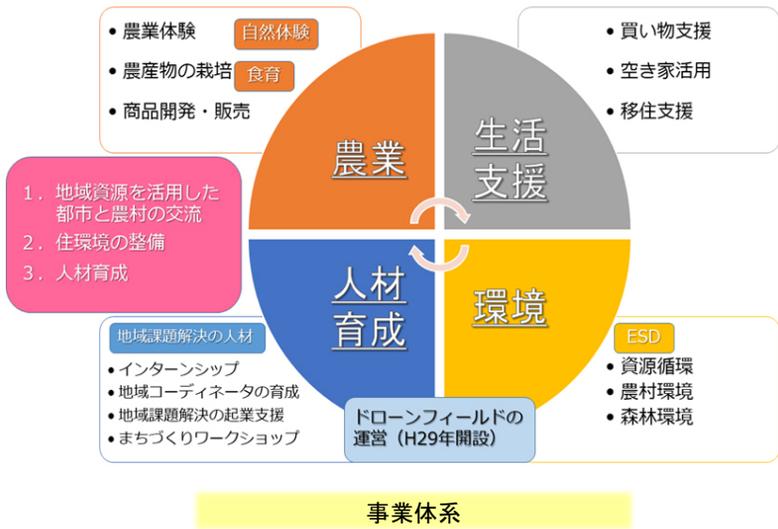
所在地：石川県金沢市松村7丁目78-1

連絡先：090-8968-4190

URL：<http://www.kukunochi.or.jp/>



石川県



農業体験とタケノコ掘り



季節の食材による加工品

地域の課題・活動のきっかけ

○担い手不足による里山の荒廃等の課題を抱えながらも地域社会の機能を守ろうとする人達を後押しするため、平成23年に地域の各組織と当法人で東原町地域活性化実行委員会を設立。



活動の内容

○多様な人材が関わり農村と都市のヒトとモノが循環するように、地域住民が主体となる地域資源を活用した活動「農業、生活支援、環境、人材育成、アクティビティ」を実施。

活動の効果

○住民によるイベント主催、20代女性の移住、外国人団体の視察、高校生による地域づくりへの参加等、関わる人が多様化した。



今後の展開

○共同体機能を維持し、農業、環境、医療・福祉、教育、観光分野との連携による内発的な発展を目指す。

⑧ 特定非営利活動法人 施無畏

～いちごハウスと野菜古民家～実家はじめます～

食育・教育

6次産業化

企業・地域住民・
大学との連携

所在地：石川県金沢市有松2-17-11

連絡先：080-1952-9293

URL：<https://www.facebook.com/semui.ichighouse/>



石川県



「野菜古民家」



車イスでも入れるバリアフリーのハウス



いちごを使ったオリジナル・
スイーツの勉強会

地域の課題・活動のきっかけ

○ある日、突然脳出血で障害を持つ身となった大学院生の事務長は、障害学を志し、福祉に貢献できる農業の未来を探るべく、平成25年に法人を設立。

活動の内容

- 農園「いちごハウス」を整備し、いちごや野菜を栽培し販売。
- 加工所を兼ねた直売所「野菜古民家」、「みんなとカフェ」を整備し、加工・販売・交流を開始。
- 食育研修会の開催等により、食育や堆肥を活用した自然農法を啓発。

活動の効果

○農作業等への参加はQOL(クオリティ・オブ・ライフ)の向上に、自然農法によるいちごや野菜の栽培は食の安全・安心への理解に繋がっている。



今後の展開

○野菜古民家により、いちごや野菜等の販売拡大、地域住民が利用できる施設として情報発信の拠点としたい。

⑨ 公益社団法人 小松市シルバー人材センター ～いつまでも元気なグランマたち～

女性・高齢者の活躍

所在地：石川県小松市正蓮寺町セイ谷10番地
連絡先：0761-47-2855
URL：<http://webc.sjc.ne.jp/komatsu-sc/index>



地域の課題・活動のきっかけ

○高齢女性の仕事の斡旋、「シルバー農園」の販売力強化が求められていたことから、平成29年に「食育レストラン」を整備。

活動の内容

○「食育レストラン」では、金沢学院大学との食育・健康に関する連携や、旬の食材を使用した料理で美味しく食育を学習。

○「シルバー農園」では、土曜市での販売から、更なる生産額向上のため、干し芋等への加工、食育レストランの食材や道の駅等のイベントでの販売を実施。

活動の効果

○伝統料理の継承や食育の推進、女性(グランマ)22名の雇用、生きがいと介護予防、地域住民の憩いの場の創出に貢献している。



今後の展開

○外国人観光客増加に向け、食事習慣にあった料理の提供などインバウンド対応を行い、小松の魅力を世界に発信していきたい。

⑩ たがらす我袖倶楽部

～日本唯一、伝承「へしこなれずし」を全国に

農林漁業・農山
漁村文化体験

自然・景観・伝
統の保全・継承

地元食材の
提供・活用

所在地：福井県小浜市田烏90-3

連絡先：0770-54-3152

URL：<http://www.wagasode.com/>



たがらす棚田キャンドル



棚田で収穫した米等の販売



鯖のなれずし新商品開発

地域の課題・活動のきっかけ

○少子・高齢化により活力の無くなった地域に少しでも元気を取り戻したいと考え、有志5人で団体を設立。

活動の内容

- 「たがらす棚田キャンドル」は、春と秋に棚田をキャンドルで彩るイベントで、多くの鑑賞者が都市部から訪問。
- 「フォトコンテスト」は、「棚田キャンドル」や「自然とくらし」をテーマに実施し、入賞者には棚田米を賞品として提供。
- 「へしこなれずし」は、地元の高校や大阪の大学との合同研究により、地元につながる伝統食を継承し販売。

活動の効果

○各種イベントの開催により、棚田の価値観を地元農家で共有し棚田保全活動の意欲向上に繋がっている。



今後の展開

○倶楽部だけでなく、地域のみならず巻き込んだ活動をして、「へしこなれずし」を全国に売り出し地域の産業としたい。

北陸農政局「ディスカバー農山漁村の宝^{むら}」特別賞

北陸農政局「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」優良事例選定審査委員会は、北陸農政局選定の地区以外で、「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」の開始以来、継続して応募しその間においても地域の活性化や所得の向上に取り組み、地域の維持・発展への貢献が顕著な地区に対し、「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」第5回目の節目として、以下の団体へ特別賞を授与することとしました。

- 1 新潟県上越市・十日町市 越後田舎体験推進協議会
- 2 新潟県上越市 金谷北地区農村元気会
- 3 富山県魚津市 小菅沼・ヤギの杜

特別賞の賞状は、北陸農政局富山県拠点から12月13日に富山県魚津市の小菅沼・ヤギの杜へ、新潟県拠点から12月18日に新潟県上越市・十日町市の越後田舎体験推進協議会及び上越市の金谷北地区農村元気会へ授与しました。

新潟県上越市・十日町市 越後田舎体験推進協議会 ～越後の田舎の暮らしで、交流と学びの旅を。～

取組概要

平成11年に、宿泊施設・地域住民・行政が連携した協議会を組織し、年間40団体ほどの学校団体等を受入れている。

- 地域の資源である、自然・農林漁業・歴史文化・暮らしといった体験・交流を受入れることにより経済が活性化し、地域に元気が生まれている。
- 地域が一つの目標を持って事業を行うことで、地域連携の強化が図られている。
- 民泊受入研修やインストラクター等の研修を行い、地域間交流が行なわれている。
- 地元の方がインストラクター等で活躍いただき、文化・技が伝承されている。



田植え体験



笹だんごづくり



春の雪山トレッキング

新潟県上越市 金谷北地区農村元気会

～古道とイノシシ被害を生かして農村を再生！～

取組概要

古道を修復し「春日山古道散策マップ」を作成した。イノシシ被害軽減のため、捕獲し楽しむ会を行っている。

- 正善寺線バスの廃止を防ぐため、イベントを年3回行い、利用者数を増やしている。飯小学校の児童の田んぼ体験学習や総合学習でも利用してもらっている。
- 地域活性化のためのイノシシ肉の活用（「老人会での活用」「朝市で活用」「滝寺ファームで活用」「イベントで活用」など多方面での活用がある。）
- マップを作成し、市観光振興課や市内観光施設・近隣小・中・高等学校に配布。また、イベント参加者にも配布している。ホームページやフェイスブックで活動の様子を発信している。最近フェイスブックを見ての来訪者が増えている。



作成した「春日山古道散策マップ」。
好評である。



年3回のイベント「春日山古道散策会」の実施が定着



年1回の市民対象「イノシシの肉を食う会」も定着

富山県魚津市 小菅沼・ヤギの杜

～みどりの風が吹く小菅沼・ヤギの杜～

取組概要

復活再生した棚田を利用してスローライフ・スローフードを体験できる場として活性化に取り組む。

- ヤギを導入しヤギの絵柄の稲作アート田を開始。収穫した古代米や作物の栽培・加工・販売、食体験や自然体験会を受入れ、さらに「コキアの灯りプロジェクト」を開催し、同時にハーブの栽培と商品化を目指す。
- コキアを育てる過程での一年間の流れを市内外の人々に体験してもらい、小菅沼でのスローライフ・スローフードを楽しんでもらい、多様な人々とのコラボで様々な知恵を出し合いながら里山の役割を果たす小菅沼へと活性化している。



景観保全の為、
コキアの周りの草刈り



にんにくの種を植付け
次年度につなぐ



収穫祭でマイほうきをつくり魔女の宅
急便のパフォーマンスをする学生達